



## 〈長野信用金庫健康宣言〉

当金庫は、創立 100 周年に向けた中期経営計画「チャレンジ 2023 2nd ステージ」(2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)において、「行動指針」を「つなげる ひろげる 地域のみらい～地域の人々をつなぎ、ネットワークを広げ、明るいまらいを創造する～」としています。本計画内の人事戦略では、地域の未来にコミットすることができる職員、お客さまから愛される職員の育成を目指しています。

当金庫の職員は全員がこの地域で暮らし、地域との深い関わり合いを持っています。そして、職員一人ひとりが地域を元気にする、という信念を持ち、笑顔を絶やさず、心身ともに健康で働き、充実した生活ができてこそ、当金庫が地域とともに歩むことができる、と考えています。

以上から当金庫は職員の健康を重要な経営資源と位置づけ、健康増進への取り組みを積極的に行い、経営トップの関与の下、これまで以上に地域に貢献し、地域に必要とされる長野信用金庫を目指します。

### 【取り組むこと】

- ・職員一人ひとりが生産性の向上を図り、仕事と生活の調和 - ワークライフバランス - を一層高めていくよう取り組みます。
- ・職員の健康診断の受診率 100%を継続するとともに、再検査となった者への事後管理を着実にを行い、健康保持・増進をサポートします。
- ・すべての職員が健やかに、いきいきと働くことができるよう、メンタルヘルスケアを推進します。